

第六十回 『竜の島国 完結編』と詰み将棋

考

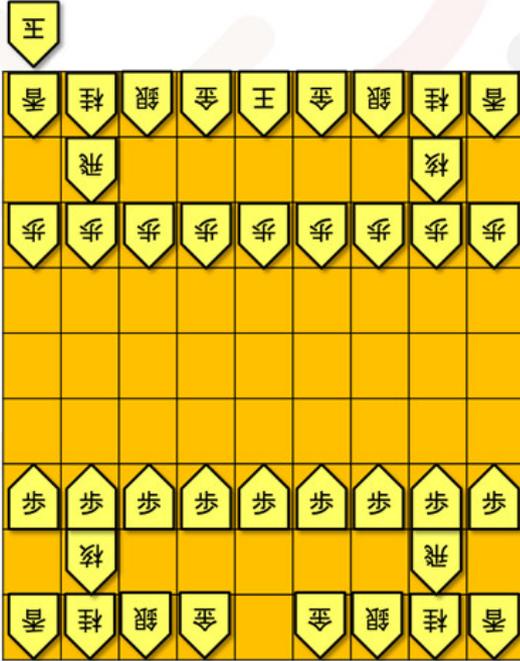
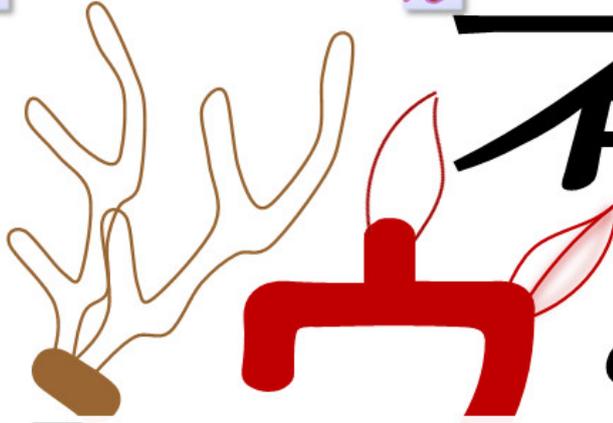


図1

弦楽器イルカ ⇔ 友人



目次

第六十回 『竜の島国完結編』と詰み将棋～G から U へ～	1
---	---

第六十回 『竜の島国完結編』と詰み将棋～G から U へ～

久しぶりだけど、元気？

一応、誰にも刺さらない釘を無駄に打っておこうと思うんだ。恒例のウマシカとしては。

結論としては、U が昔言ってた海外の書店に並んでた村上春樹のすごさって話がずっと頭にひっかかってて、そこにオチを付けたい。

いきなりだけど、「核さえ持てば」って話は、「9 条さえ持てば」と同じか、それ以上にお花畑だと思うんだよ。

この国が「核持ちたいで～す！」って手挙げしたら、「持ってけドロボー！」って世界中が二つ返事で、しかも「いや、核持たれちゃお手上げですわ、アップレ！」って敵国があっさり降参するの？ それお花畑以外の何ものでもないよね。

毎回この歌出すけど、核を持つのがあなたにはゴールなの？ 私には地獄のスタートでも？

今回、理由があっていつもよりストレートに書く。10 年やってきたウマシカに、世間がそこそこ追いついてきたなって与太話から。(忘れてると思うけど東京パラの閉会式でちゃんと「ビューティフル・ネーム」かかったしね)

ひろゆきの対談とかが広まって、俺も少し前から肩にツバつけながら評価はしてたんだけど、ウマシカでやってきたことがあんま間違ってたなかったなって、まず思う。

結局、マスコミは責任を取りたくないから、報道番組に芸人入れて「これはショーですよ」ってボカシを入れるし、ああいう無責任な個人が勝手に話してる分には、視聴者からクレーム来ても個人を切れればいいだけだから使いやすいって理由で、流行してるのはわかる。

ひろゆき本人だって、マスコミから締め出されても生活できるから言いたいこと言えるし、あの程度の言説でさえ語れる人間が政治家含めてあんまないこの国に絶望して、海外移住してんじゃねえかなって思う。実際俺も肩ベチョベチョで評価をしていたんだけど。大事なことなので二回濡らしました。

こっから本題だけど。

北が核を持ってるから米と交渉できた？ 烏（ウ）は核を返したから露に侵攻された？ 「それ、あなたの感想ですよ」ってウマシ考するよ。

だって北が米と交渉した結果、北は世界で一番住みやすい国になった？ 北の一般国民は世界一豊かになった？ 北の独裁者は世界一イケメンになった？ だったら核万歳だよ。

でも、北が核を持てたのは中が許したからで、北は中の後ろ盾があったから米と交渉できた。北がつぶされないのも結局、中米韓日にとってまだ利用価値その他の理由があるからだ。

なのに、「核のおかげで北が米と交渉できた」って感想言われたところで、だったら何って思うよ。

むしろ北の一般国民にとっては、核なんか無いほうが、独裁者もすんなり排除されて、中韓に吸収されて、今よりも暮らしやすくなった可能性の方が高い。

つまり北の一般国民にとっては、むしろ核が邪魔になってると俺は思う。

翻って、この国が核を持ったところで、いつでも打つぞという姿勢をみせなければ脅威にならない。だけどこの国お決まりの誰も責任を取らないシステムでは、核を打つためには複雑な手続きが必要になる。それでは有事の際、役に立たないし、足元見られるだけだ。

じゃ、手続きを簡略化してすぐ打てるようにすると、それこそ国連や大国から、敗戦国が生意気に軍国化しやがったって後ろ指さされることになる。

さらに、テロに狙われないように核を安全に管理するシステムや、打てる権限を持った権力者の言動に、国民が振り回され支配されることにもなる。

自分の身は自分で守るって肝に銘じてきたから、自国が自分を守ってくれるなんて、お花畑なムシ考だと思えない。

国が守るのは国という単位とせいぜい金持ち権力者までであって、一般国民を守るワケじゃない。100万を超える兵士が前線で飢死しても国は責任を取らない。そのくせ国に従わなければ非国民扱いされて処罰される。

結局、核 vs 9 条の議論は、お互いマウントを取り合うのを生きがいにしてる、ムシ考の平和ボケした戯れだから、せめて世論から無視されるお花畑の範囲でやれと俺は思う。

原発が爆発したせいで甲状腺を検査された子供たちが、ガンを切除するに至った苦しみまでなかったことするような国だ。訴訟も話題にならない。そうやって同じ国民を簡単に見捨ててきてるのに、自分だけ他人を踏みにじて助かろうなんて、ムシ考が良すぎて虫唾が走ると俺は思うよ。

そもそもこの国はエネルギーも資源もない上に、敗戦とバブル崩壊で覇権国になる機会も逃したんだから、今回露に天然ガスを握られて弱腰のEUと同様に、長いスパンで見たら大国に媚び売る以外に道はないと俺は思う。

それにこの国が米以外の属国になっても、保身のために寝返る政治家しかいないんだから。

「一億総玉砕」「鬼畜米英」が一瞬で「ギブミーチョコレート」に変わる国なんだから。今度は「請給我巧克力」って発音を競い合う国民性なんだから。

ずっと昔からこの国は主権という玉を取られてる上に、有事になったら自分から寝返る駒しかいない将棋をずっと指してんだよ(図1)。俺ら下級国民のウマシカだけが、敵に向かっている呑気な歩で、うしろ振り向いたら取られてもないのに金銀みんな寝返ってんだから。

仕方なく自国を守るために無理筋の将棋を指してきただけで、俯瞰で見れば詰み終わった将棋をいつまで指してんのって話だろう。水木しげる先生に謝れて脈略なく主張しとくよ。

んじゃ結局自分の身はどうやって守るかって言ったら、世界中どこでも暮らしていけるくらいの実力ある金持ちになって、自分は住んでない母国に向かって「核持てば？」って半笑いで煽って情弱から金巻き上げるのが、最も安全なやり方だよ。

でなきゃ、どの国に侵攻されようが媚びへつらえるだけの強かな語学力を身につけるか、どんな死に方をしても「これがベストだった」って自己肯定できる強いメンタルを持つ訓練をするくらいしか道がない。

敗戦にもメリットとデメリットがあって、戦後復興したこの国でむしろ戦前より楽しく豊かに笑って死んだ人間だってたくさんいるし、逆に戦勝国になっても自分や家族が戦禍で殺されたら意味がないって俺は思う。

あと真面目にウマシ考すると、この国が生き残る道の一つは、いじめられっ子が芸を身につけてカーストの順位上げるみたいに、鬼滅みたいな芸術を発表し続けて世界中に鬼面白い国って認められることだよ。大国の庇護の下で生きる、ピエロ国民としての誇りを持ったほうが、生きやすいと俺は思うけどね。

だいたい9条関係なく、核を持つまでのハードル、核を持ってからのハードルを考え

たら、この国にとって核はむしろお荷物って勝手に妄想したから書くよ。

小島国が核を持とうとしたが、一部を除いて、大国や国連は総じて反対する。

さらに、核を持とうとする野蛮な国家として国連から認定された上、大陸国に平和のための侵攻という口実を与えてしまう。

そこで大陸国の侵攻を防ぐため、後ろ盾の覇権大国に防衛を依頼したら、くれたのは十本くらいの核でした。

「この核どうすんだ」と話し合っても結論出ず、気づいたら政府と軍は、侵攻した大陸国と国内に潜んでいたスパイによって無力化されてしまいました。

さらに、そこで神棚に祀られてる 10 本くらいの核を発見され、それを世界に公表された結果、「小島国は約束を破り核を勝手に開発した上、使い道も分からず拝むだけの愚かな国」として報道され、濡れ衣と言っても認められず、覇権大国からも見放されました。

最終的に小島国は、国連と大陸国同士の話し合いの結果、複数の大陸国に分割統治されることとなりました。

でも、「核を持て」と煽った金持ちの無責任な人たちは、大陸国に移住してぬくぬくと楽しい老後を迎えました。

ただ、分割統治された小島国でも、侵攻に反対する暴動の鎮圧などにはありましたが、一方、媚びへつらって強かに切り抜けてチョコを分けてもらう国民など、楽しく老後を迎える人もたくさんおりましたとき。人間なもの。以上。

米が世界の警察をやめてくなら、その汚れ役を中露が引き受けるって話はずっとしてきたし、もしこの国に世界の警察できる力があるならやってみろって、到底無理だけど、結局今は新世界秩序に向けて、世界が新しく分割統治されていく過程なんだと俺は思う。

ちょっと前には、米に濡れ衣着せられて国際決済システムから排除された国だってあるんだから、国自体を信用してるヤツはただの花畑国民だよ。米が烏の大使館を撤収したタイミングの早さから、米露が事前に落としどころを協議してくれてたって状況のほうが、ノールールで戦争するよりはまだ、宇宙船地球号の乗組員としては安心するよ。

そういう意味で、U が言ってた村上春樹のすごさって、「他人に干渉し過ぎない考える個人主義」を世界に浸透させていることだと思うし、そういう個人主義の人間が増えることで草の根的な世界平和につながってくと思ったんだよね。

本当の理想は、絶対に誰も殺さないと決めて現地人と仲良くなる水木先生みたいな兵隊こそ英雄として勲章あげることだよ。兵士全員に「こんなところで何やってんだ俺」って個人主義を芽生えさせる文化を、世界中が真面目になって作るべき。

あとは、戦争に加担する人々を PTSD に追い込むサステナブルな取り組みにも、本腰を入れてほしい。

今回は笑いとゲームその他と BL について書きたかったんだけど、全部後回してこんな感じ。

どうかな？



考えるウマシカ～第六十回 『竜の島国 完結編』と詰み将棋～

著 弦楽器イルカ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
